

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	お一人お一人の生活歴を踏まえ住み慣れた地域での社会的交流の場、集いづろぎの場として質の良い安心・安全な暮らしの空間を提供出来るよう掲げています。		
2 理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	理念はリビングルームに掲示して日々目に入るようにし、職員が意識できるようにしています。また、日々の申し送り、カンファレンス時に共有の意識を持ち、ケアのお手伝いに当たれるように話し合いをして取り組んでいます。		
3 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	入居者の方々のここでの生活の様子、行事などの予定をお便りに掲載し御家族へ送付したり回覧板で地域の方々へお伝えしています。	○	さんる一む通信、昨年は二ヶ月に1回、御家族の方、地域への回覧板にてここでの生活の様子などお伝えしていました。現在は一ヶ月に1回作成しお伝えしていますが、お便りの中に理念を記載して、お伝えしていきます。
2. 地域との支えあい			
4 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	日々の挨拶を何よりも職員一同心掛け実行しています。行事にはご近所の方一軒一軒お訪ねしお誘いしたり、犬の散歩をする方々が庭に立ち寄って下さったり近くの施設の方が散歩中寄って下さりティータイムを一緒にして下さったりしています。		
5 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	地域の保育園児との交流が深まり10数名の園児とリビングで昼食を一緒に致しました。町内会との交流の中から町内会の新年会(夜開催)にも入居者の方と一緒に参加したり、しめ縄作り、アイスクャンドル作りなどにも参加し交流に努めています。		
6 事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	全国的に問題になっている高齢者(特に独居されている方)を狙う振り込め詐欺を防ぐ説明会を元刑事の方にお願ひし開催しました。地域の方に参加を呼びかけ入居者の方と一緒に参加しました。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	○	<p>より良いケアに向け評価された事項への改善に向け話し合った記録を残す事を実践し意見箱の設置についても運営者の意見をもとに手作りですが設置し活用しています</p>
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	○	<p>他のグループホームと合同で運営推進会議に取り組み、参加して下さった方に色々な面を見ていただくことでサービスの向上に努めています</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	○	<p>制度についてスタッフ全員が理解できるように内部、外部研修に参加していきたいと考えています。</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		<p>御家族には契約書に沿って説明させていただき、特に利用料、医療連携加算については詳しく行うようにしています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	入居者様の日々の生活の中での行動、言動、表情よりその方の思いを汲み取る努力をしています。カンファレンスや申し送りにて情報交換を行いケアプランに反映できるように対応しています。	○	運営推進会議には必ず入居者様も参加され意見等話す機会設けています。
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	毎月のホームでの様子をお便りさせて頂いています。また、来訪時やお電話にて管理者より健康状態についてご報告させていただくようにしています。お預かり金よりの支払いレシート等領収書の送付、ご確認をお願いしています。		
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	ホームでの行事などに御家族様への参加をお願いしています。事業室からアンケートを送付しサービスに反映できる体制をとっています。	○	本年も12月に御家族をお招きしてのクリスマス会を予定しています。ご意見箱を設けて意見・不満・苦情などいつでも思いを伝えていただけるように取り組んでおります
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	スタッフからの意見などカンファレンスを通じ日々の業務へ反映しています。必要時に直接面談を行い、年2回、自己申告書にて意見を述べる機会があります。		
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	急変の病院受診、レクリエーション、外出時、入居者様の安全確保の出来るスタッフ配置を行っています。		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	入居者様、御家族様へ信頼が途切れる事のないよう細かな引継ぎを行っています。異動時のスタッフは直接あるいは毎月発行している「さんるーむ通信」によりご挨拶、ご紹介行うようにしています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>勤務調整にて内外の研修会へ参加しています。参加できないスタッフへは資料回覧し、カンファレンスで報告するようにしています。</p>	<p>○</p> <p>同じ研修会を2回計画する事で職員全員が研修を受ける機会を確保しました。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>市、区の連絡会議への参加、交流会参加にて他事業所職員との交流を持つようにしています。</p>	<p>○</p> <p>色々な委員会活動に管理者だけでなく職員も参加することで、他の事業所の事を知る事が出来、自分の事業所をも振り返る事が出来ました。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>疲労、ストレスに気を配るようにし、勤務中休憩できる時間と場所を確保しています。</p>	<p>○</p> <p>全事業所にて色々な項目案も作りアンケート集計を行い集計結果に基づき工夫し、環境作りに取り組んでいます。</p>
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>年2回の自己申告書で個々の努力(研修会への参加や資格取得の報告)などを述べる機会があり面接を併せて行い、向上心を持って働けるよう努めています。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居前に情報頂く為御本人に合いお話聞いたり見学の際に御家族から情報頂いたり御本人とお話する機会作らせて頂き、お気持ち受け止めるようつとめています。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>これまでのご苦労、困っている事、不安に思われていることなどを話していただけるよう心がけ、スタッフや事業室と話し合い、御家族が望まれている事を理解し取り組んでいけるよう努めています。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	早急な取り組みが必要と思われる相談者には柔軟な対応をするために他の事業者のサービスに連絡するなどしています。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	入居前には御本人も含め荷物の搬入一緒に行いながらご本人にホームの雰囲気を感じていただき、管理者との面談を行うようにしています。入居後は特に環境の変化に注意し同居者とのコミュニケーションをサポートすることをケアプランに組み込んでいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	菜園土台作りから収穫まで、また、長い人生で体得された知識など教えていただく事多くあります。残された力を大切に、感謝の気持ちを伝える事で自信を持たれ、心身の活性化につながればと考えています。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	御家族と一緒に参加できる行事を行ったり面会時に日々の様子をお伝えし変化のある時はお電話でお知らせしたり、毎月通信を発行し、お送りしています。御家族と入居者様のパイプ役となれるよう努めています。		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご本人の生活歴や家族構成などを把握し支援できるように、管理者、スタッフはパイプ役となりコミュニケーションがスムーズにいくように努めています。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	御家族やご友人の来訪時には居室でゆっくりくつろいでいただき一緒に過ごす時間を大切にしていきたいと考えています。また、入居者様はお好きな時に電話で御家族やご友人とお話されています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	ゲームやお手伝いを通して入居者同士が協力しあったり、アドバイスされたり、優しさを垣間見ることができます。体操やティータイムにはテーブルを囲みゆっくりとおしゃべりを楽しむ時間があります。スタッフが間に入り全員が参加できるように努めています。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	医療施設へ入院されても入居者様と共に御見舞いに行き馴染みの関係を継続できるように努めています。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日々の生活の中でご本人の希望や意向を十分に把握しそれに沿ったケアをするよう努めています。意思表示が難しい方へはご本人の立場で考え、表情やふとした仕草の中からお気持ちを汲み取る努力をしています。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	御家族、御本人からの情報を集めたり、日々のコミュニケーションの中から生活歴や環境、交友関係などを探り、ケアに役立てています。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	常に入居者様9名の所在を把握し、心身の状態の変化を見逃さずスタッフ全員情報の共有をし、申し送り、話し合いを重視しています。緊急連絡網を準備し、すぐに医師や看護師の指示が受けられるようにしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	3ヶ月、半年毎の評価とモニタリングをスタッフ全員で行いケアのあり方を話し合っています。御本人、御家族の要望を聞きながら入居者様がその方らしい生活が出来るように支援するケアプランを作成しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	ご本人の状態に変化のある時はその都度スタッフで話し合いを行い、状況に合う介護計画を作成しています。	<input type="radio"/>	杖を使用していただくよう介護計画に立案していましたがバック、座布団、杖を持たれ歩行されるので御家族、職員話し合い、歩行の時の見守り同行と変更しています。
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やけあの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	気付いた事、ケアの様子実践を申し送り表や個別記録に記入し情報を共有し、介護計画の見直しに役立てています。	<input type="radio"/>	ご本人の言葉、様子などメンタル面に対する記録を充実させケアに生かせるよう努めています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	受診の代行、買い物の代行等をして柔軟な支援しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	近所のお宅や町内会と日々の交流を図り、緊急時には支援していただけるよう働きかけています。防災訓練、運営推進会議も行っています。		
41 他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域業者によるマッサージ、理美容、歯科の利用、市のオムツサービスの利用、地域のケアマネジャーの訪問もあり、必要時に対応できる体制になっています。		
42 地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	運営推進会議に参加していただき、アドバイスをいただいています。	<input type="radio"/>	地域包括支援センターから要望があればということで「在宅の介護の現状」についてお話いただけることになり日程調整しています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	週一回、看護師による健康管理、月二回内科医の往診があり、なじみの関係ができており個人の質問等にも対応できています。緊急時24時間対応の体制も出来ております。	○	訪問歯科の往診利用し、お二人の方の残歯の治療により口腔ケア時の痛みもなく食事も美味しくできるようになりました。
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	主治医、看護師は認知症に詳しく、診断や治療を受けられます。地域の専門医に相談できる体制ができています。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	週一回の看護師の訪問があり、相談、報告を行っています。24時間体制で対応し、医師や他の医療機関とのパイプ役となっております。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	医療機関の相談員との連携や御家族からの情報やご本人の面会を行い、早期退院に向け話し合いを行っています。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	御本人や御家族の意向を把握し、出来る限りの支援を御家族にも協力していただきながら対応していきます。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	御本人や御家族の心情を考慮し、スタッフが出来る最大のケアについて話し合い、かかりつけ医や看護師らの協力を得て取組んでいけるようにしていきたいと考えています。		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止  本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	新しく入居される場合は御家族や御本人と十分話し合い他事業所から移られる際にはアセスメント、ケアプランの情報を交換し、これまでの生活をできるだけ継続していただけるよう努めています。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底  一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	スタッフ間の話や申し送り時は場所を変えプライバシーを守ります。人生の先輩に対する尊敬の念を忘れる事のないよう、対応の仕方も馴れ合いになりすぎないようにスタッフ同士話し合っています。		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援  本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	御本人の意思を尊重できるよう衣食住の配慮を心がけています。一緒に考えたり、個々に合わせ「選択できる場面」を作るよう、御本人の納得できる生活を支援します。表現のうまく出来ない方はサインを見逃さないように、思いを汲み取れるよう努めています。		
52 日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	その日の体調や気分を尊重し、起床、入床時間を決めず、体操やレクリエーションも自由参加としています。買い物や外出の希望も臨機応変に対応しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	御本人と一緒に買い物に行ったり、御家族の協力を得ながら行っています。		
54 食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしているか。	作り方を教えてもらったり、味見してもらうなど、調理、盛付に参加していただいたりしています。盛付や器も季節感を出すよう工夫しています。食事はスタッフと話しながら楽しみます。下膳、食器拭きをしてくださる方もいます。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	好みのおやつを買いに出掛けたり、スタッフが買ってきたりします。病気のある方にはお預かりして少量ずつお渡ししたりしています。お酒の希望の方はいませんが、希望があれば対応できます。		
56	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	一日の排泄パターンを把握し、サインを見逃さないよう行います。排泄時はプライバシーに配慮し支援します。	○	ご自分の思いを表現出来ない方ですが、排泄のパターン、ちょっとした仕草を読み取る事で尿取りパットを外すことができ、気持ち良く生活していただけるようになりました。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	希望をお聞きし、午後から見守りや介助でゆったりと入られます。毎日の入浴にも対応できる体制です。ご希望があれば午前中でも入浴される時もあります。		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	御本人の生活パターンを重視し、入床・起床の無理強いはしません。夜間ぐっすり眠れるよう日中の体操、散歩、外気浴など生活リズムが整うようにしています。不安のある方やなかなか眠れない方にはお話しをし安心して休めるよう支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	その方の得意なもの、能力に合った事、調理・盛付・掃除・畑仕事・草取り・縫い物・編み物・貼り絵など無理の無いようにしていただいています。	○	男性の入居者の方ですが、朝食の盛付・配膳などほとんどの事をご自分の出来る事としてして下さるようになりました。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	必要と感じている方は御本人が管理されており、買い物もお好きなものを選び御自分で支払いされています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	ご本人の希望により近所の散歩や買い物に出掛けたり戸外に出る事の支援をしています。	<input type="radio"/>	鳥の餌やりなど自発的にされる事を支援していきます。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言ってみない普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	日常の会話の中で行きたい場所などをお聞きし、御家族にも参加していただき季節ごとのバス旅行や食事会を行っています。		
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	希望のある時には電話がかけられるようにダイヤルしたり手紙の住所を書いたり支援しています。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも訪問していただけるよう時間の制限も無く気軽に来ていただいています。居室でお話しされたり、リビングで他の方も交えてお話されたりしています。	<input type="radio"/>	春先には3日間ほど御家族の方が泊まれ一緒に生活をされました。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束についての講習で学んだり、スタッフ間で話し合ったりし、身体拘束をしないケアを実践しています。	<input type="radio"/>	言葉による拘束の無いようスタッフ同士話し合い気をつけています
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中の玄関施錠、各居室の外側からのスタッフによる施錠は行っておりません。自由に出入りできる環境を整えております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	各居室にはカーテンやドアがありプライバシーを保護しています。常に居室で過ごされている方やリビングにて過ごされている方の動向について把握し、夜間は定期的に訪室し安否を確認しています。(あらかじめ御本人・御家族には説明を行い、同意を得ています)		
68 注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	ハサミや髭剃りなど御自分で管理されている方もいますが入居者様それぞれの状態に合わせて対応しています。		
69 事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	入居者様個々の身体・精神状態に合わせアセスメントを行い、事故を防止するよう努めています。緊急時のマニュアルも用意され、日頃よりの確な対応が出来る様に訓練しています。		
70 急変や自己発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	定期的に応急手当や医学知識についての講習を受けスタッフ間で急変時の対応について確認し合っています。		
71 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	災害時の応援体制は整っております。消火器の使用方法や避難訓練は定期的に行っています。		
72 リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	心身の変化など日常生活の様子を御家族にお伝えし、起こり得るリスクについてご理解いただいています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>入居者様の体温、血圧、顔色、目の動きなど対話しながら観察し、変化が見られる時は他のスタッフに情報を共有し対応しています。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>入居者様一人一人服薬される薬がどの目的に服用されてどの症状が緩和するのかの確認をしています。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>日頃から食事ないし生活を見直し少しでも良いと思われることは取り組んでいます。水分摂取はお一人お一人に合わせ、小さな器にしたり、2～3口で飲みきれるようにしたり、野菜ジュースを飲んでいただいたり工夫しています。</p>	
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食後はお茶や水分を飲んでいただいています。就寝時は義歯ないし口腔ケアを支援しています。</p>	<p>○ 義歯が現在その方に合っているか、残歯の状態はどうか御家族の方と相談しながら、訪問歯科を利用する事で食事ができるようになられました。</p>
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>入居者様一人一人の食事量・水分量を把握し、必要量を確保できるようにサポートしています。不足しがちな方へは補助食品を利用しています。</p>	
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>職員・入所者様共に外出時のうがい・手洗いを徹底しています。外部から来訪される方にも入室前に手指の消毒をお願いしています。感染マニュアルに基づいて調理器具やテーブル、手すりなど塩素消毒しています。</p>	<p>○ 新型インフルエンザの流行に備え、玄関に消毒液を設置し手洗い・うがい・マスクの着用をお願いしています。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>冷蔵庫の定期的な消毒、調理器具は毎回塩素消毒を行っています。食器類は食器洗い機にて高温消毒を行っています。食材は2日に一度搬入され新鮮なうちに使い切るよう努めています。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関にスロープ・手すり・椅子など設置しどなたでも安心して出入りできるよう配慮しています。入居者様も花壇の手入れ、植え替えなどに参加されており、ご近所の方々が散歩途中でベンチで休んでいかれたりしています。</p>		
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>音楽やテレビの音量は入居者の方々が相談されながら調整して下さっています。季節の花や壁飾り(入居者の方々が作る貼り絵)などで季節感を感じていただき居心地の良い空間作りにも努めています。</p>		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングはテーブルやソファなどあり、御本人の好きな所で過ごしていただいています。季節を感じられるテラスでも自由に過ごしていただけるように椅子・テーブルの工夫をしています。</p>		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室内には心落ち着く御家族からの贈り物や写真、使っていた家具などを置き家庭とあまり変わる事の無いよう努めています。</p>		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>居室やリビング、廊下、台所など空調や温度調整に努めています。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	○	<p>入居者様の要望で外での食事を行い好評だったため、来年は回数を増やしていきたいと考えています。</p>

サービスの実績に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんど掴んでいない</p> <p>表現出来ない入居者様の思い、願いを感じられるよう職員一同努めています。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>1日2回のティータイムには入居者の皆さんと一緒にお茶を飲みながらおしゃべりを楽しんでいます。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>お一人お一人の生活リズム、そして体調を把握しその方に合わせた生活が出来るようお手伝いしています。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>家事やレクリエーションに参加していただくことで得意な事が見いだせたり、暮らしの中での会話の中から生き生きとした表情が見られるようお手伝いしています。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>出来る限り個々の体調、体力に合わせ計画実行しています。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>関連の医療機関と24時間体制で連携が取れているためいつでも対応ができています。</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2/3くらい 利用者の1/3くらい ほとんどいない</p> <p>不安の軽減に日々努め配慮をし、その時々々の入居者の方の要望をなせる事で楽しく安心して暮らしていけるよう、職員一同努めています。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2/3くらい 家族の1/3くらい ほとんどできていない</p> <p>不安な思いを遠慮され言い出されない御家族の方に対しても言っていたりするような雰囲気や表現作りに努めています。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>散歩中の方が毎日立ち寄って下さっています。</p>



サービスの成果に関する項目			
	項目	取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	町内会の催し、活動に積極的に参加しています。
98	職員は、生き生きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	日々の生活の中で入居者の方への思い、ケアの向上について話し合いがなされています。。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	思いを言葉で表現出来ない方もおられますが、笑顔や笑い声多く見られています。日々の中で単語ですが思いを表現して下さったり感情も表現して下さいます。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	御家族の思いをもっと表現していただけるよう努めていきたいと考えています。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)  
さんるーむ内の雰囲気や笑いの中に穏やかさが流れ、入居者の方々と私たち職員と一緒に生活できていると考えます。周りには公園やお店があり緑豊かな環境に恵まれているため、四季を感じながらそれに触れながら生活していただけていると考えています。2階にはデイサービスがあり、地域の方々が通われているため交流の機会が多く、週に一度はインストラクターの指導の下に身体活性化体操に参加したり、ボランティアの方の踊りや民謡・落語・囲碁の場に参加したり、バーベキューパーティー・ドライブなど一緒に楽しむ機会がたくさんあります。